

子どもの気になる行動や反応に悩んでいませんか

子どもの発育や発達のスピードはそれぞれ違うものです。苦手なことや上手くできないことがあったりと、日常生活に困難を感じているお子さんもいます。原因はさまざまなことが考えられますが、そのひとつとして発達障がい可能性があります。発達障がいは脳の機能障がいであり、保護者の育て方やしつけなどが原因ではありません。早期に気づき、お子さんの特性に合わせた周囲の理解、適切な支援を受けることで暮らしやすくなります。



発達障がいを理解して、一緒に考えましょう

接し方のポイント

発達障がいのために生じるさまざまな困難は、本人の努力だけでは解決できないことも多くあります。本人と一緒に理解を深め、その人らしく生活できるよう応援していきましょう。

安心できる環境を整える



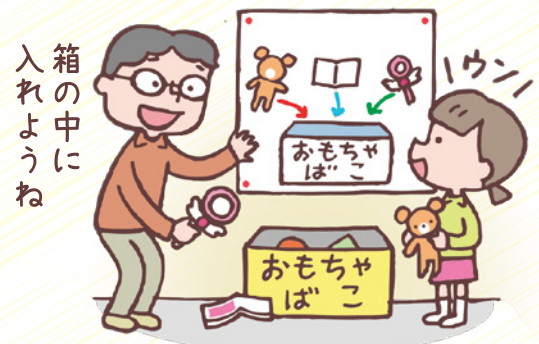
できないことだけにとらわれず、できることに目を向ける



抽象的な表現をさけ、具体的に



視覚的な情報を提示して説明する



説明や指示は短い文で、順を追って

〈対応例〉
「〇〇と△△をして・・・」
↓
「〇〇をして・・・」
〇〇ができたなら、「△△をして・・・」

お気軽にご相談ください まずはお電話ください

■乳幼児期の育ちや発達の相談

- お住まいの地域を管轄する地域健康課
大森 ☎5764-0662
調布 ☎3726-4147
蒲田 ☎5713-1702
糀谷・羽田 ☎3743-4163

■気になることや発達の遅れの相談

- こども発達センターわかばの家
☎3757-7761

■学校生活の中での相談

- 教育センター 教育相談 ☎5748-1201

■特別支援教室(サポートルーム)の利用に関する相談

- 児童が在籍する区立小学校

■発達障がいに関する相談

- さぽーとぴあ ☎5728-9433

お子さんの成長をサポートします ～支援事業など～

■区立小学校特別支援教室(サポートルーム)

特定の学習や集団活動への参加が困難であったり、コミュニケーションに課題があるお子さんを支援します。在籍校に設置のサポートルームで、一人ひとりの困難さに応じた個別指導計画をもとに学習します。

区立中学校には通級指導学級(情緒障害等通級指導学級)があります。

■「サポートブックかけはし」

幼児期から大人になるまでの、生い立ちや医療・療育・教育などの情報を整理し、継続した支援を受けるためのツールとして活用できます。

■ペアレントトレーニング

保護者に、子どもを正しく理解し、好ましい関わり方を身に付けていただくためのグループ学習会です。



発達障がいに関する講演とシンポジウムを行います

●基調講演

「発達障がいの二次的障がいの予防について～生きづらさに寄り添う～」

講師 東京学芸大学教育実践研究支援センター・教職大学院教授 小林正幸

●シンポジウム

「発達の特徴を理解し、応援するために」

日 12月4日(日)、午後1時30分～4時

会 アプリコ小ホール、展示室

定 先着300名

場 当日会場へ ※保育(1歳6か月以上の未就学児先着15名)希望は11月22日までに問合先へ電話かファクシミリ